

山桜会は再び動き始めます。一緒に山桜会を楽しみましょう!



会長 林 裕悟

このたび会長に就任いたしました林裕悟と申します。伝統ある山桜会の会長にご選任いただき大変光栄に存じます。歴代の会長と比較すると、社会経験に乏しく、不安を感じる方もいらっしゃるかもしれません。そのような方にも、数年後には、「あの会長でよかった」と思っただけのよう、微力ながら尽くしていきたいと考えております。何卒、よろしくお願い申し上げます。

山桜会は、コロナ禍の影響で活動が停滞し、山桜会の目的のひとつである

「会員相互の親睦」を深めることができませんでした。2023年は、コロナ以前に開催していた総会や新年会、各年代の学年同窓会などをwithコロナに適合する形で、積極的に開催していきます。広くご参加いただけると嬉しく思います。

また、イベントや同窓会などの情報や山桜会の活動報告は、InstagramやFacebookなどのSNSやオフィシャルウェブサイトで迅速に発信します。SNSに未登録の方はぜひともご登録ください。

山桜会は、100年を超える歴史と伝統を大切にしながらも、新たなチャレンジをおそれません。本年度も、皆さまと一緒に山桜会をおおいに楽しんでいきたいと思っています。



追手門学院 理事長挨拶

さらなる飛躍をめざして



理事長 川原 俊明

山桜会の皆さまには、学院運営に多大なるご支援ご協力をいただき、誠に感謝申し上げます。

最近の山桜会活動は、従来の活動の域を大きく超え、多彩な同好会活動など、多くの卒業生が参加出来るよう裾野を広げた活動の広がりを感じられます。

本来の同窓会のあり方を見直し、大いにチャレンジする姿勢が感じられ、大変喜ばしいことです。

追手門学院も大きく発展を遂げようとしています。

こども園での園庭改革構想、小学校での国際教育センターの設置、茨木・大手前両中高の積極的募集展開の成功、大学における法学部新設、理工学部設置構想を含めた総持寺キャンパスのII期棟建設工事の着手など。

これら学院全体が新たな改革に向けて活動できているのも、山桜会の大きなご支援があればこそであります。

学院生、卒業生、母校発展のため、学院のステータスをさらに高めましょう。山桜会と母校は車の両輪です。互いに連携をさらに強化しましょう。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

